

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和7年度～令和11年度（5年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	（ちくまがわかりゅう） 千曲川下流森林計画区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 ほくしん 北信森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、千曲川下流森林計画区の長野市を含む3市3町5村に所在する約49千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は長野県北部に位置し、森林の現況は、人工林18%、天然林70%、その他12%となっている。人工林の樹種別割合は、カラマツ54%、スギ35%、ヒノキ2%、その他9%で、カラマツの占める割合が高い地域である。</p> <p>事業として、主伐・間伐を見据えた路網整備や、主伐後の更新とその後の保育が必要な状況となっている。</p> <p>本計画区の森林は、県下森林面積1,056千haのうち17%を占め、通称「北信」と呼ばれた地域であり、ナメコ等のキノコや山菜などを利用した食品加工業も重要な産業となっていることから、国有林からの木材の安定供給への期待が高い地域である。</p> <p>本計画区の多くは新潟県や群馬県との県境の奥部に所在しており、国有林の98%が水源かん養保安林等に指定されている等、国土保全、水源涵養等の公益的機能の発揮に重要な役割を担っている。</p> <p>また、本計画区には、自然公園法（昭和32年法律第161号）に基づき「上信越高原国立公園」及び「妙高戸隠連山国立公園」が指定されるなど、優れた景観を有する地域がある。また、長野県と新潟県の県境に連なる全長110kmのロングトレイルである「信越トレイル」があり、登山や保健休養の場として森林を利用したスポーツの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>このため、本事業は、森林の有する水源涵養機能等の公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給等による地域の活性化にも貢献するため、地域特性や現地の状況、社会情勢等を踏まえ、植栽や間伐等の森林整備を積極的に実施するとともに、森林整備の効率的な実施に必要な路網を整備する。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>103 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,796 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3.00 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.52 km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	103 ha		保育面積	2,796 ha	路網整備	開設延長	3.00 km		改良延長	0.52 km
森林整備	更新面積	103 ha													
	保育面積	2,796 ha													
路網整備	開設延長	3.00 km													
	改良延長	0.52 km													

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総事業費 2,693,138 千円（税抜き 2,448,307 千円）</li> </ul>
費用便益分析	<p>総便益（B） 9,595,439 千円</p> <p>総費用（C） 3,235,782 千円</p> <p>分析結果（B／C） 2.97</p>
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから本事業を実施することが妥当と判断される。</p>
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 本事業は、現地の実態に即した保育作業コストの低減を図り効率的な林業経営を行うよう計画されており、森林の整備や間伐した木材の搬出を効率的に行うため事業を実施する必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 森林整備事業では、伐採・造林一貫作業システムの導入、現地の植生等に応じた下刈回数の縮減等により保育作業のコストの縮減を図ることとしている。また、路網整備では、既設の路網を効率的に利用する計画があり事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 計画的な保育作業の実施、自然条件や作業システムに応じて森林作業道と林業専用道を整備するなど、多面的機能を発揮する健全な森林を育成するために有効な事業であると認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>

様式1

便 益 集 計 表  
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)  
施行箇所：千曲川下流森林計画区

都道府県名：長野県  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	2,381,647	
	流域貯水便益	542,944	
	水質浄化便益	2,240,921	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,699,987	
環境保全便益	炭素固定便益	544,081	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	62,058	
	木材生産・確保増進便益	425,262	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	698,539	
総 便 益 (B)		9,595,439	
総 費 用 (C)		3,235,782	
費用便益比	$B \div C = \frac{9,595,439}{3,235,782} = 2.97$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{14,729,964}{3,909,891} = 3.77$
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{18,866,509}{4,407,568} = 4.28$

# 森林環境保全整備事業 千曲川下流森林計画(長野県) 事業概要図

森林整備事業（機械地拵作業）



霊仙寺山国有林

森林整備事業（下刈実施後）



鳥甲国有林

森林整備事業（植付実施後）



霊仙寺山国有林



森林整備事業（間伐）



霊仙寺山国有林

路網整備事業（林道新設工事）

（着工前）



（新設後）



鳴岩林業専用道新設工